

町民報告会

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録を祝う町民報告会が7月2日、JR平泉駅前などで盛大に開催されました。世界遺産暫定リストに掲載されてから10年。3年前の世界遺産委員会では、国内の推薦資産としては初の「登録延期」の決議を受けました。会には世界遺産の登録を心待ちにしていた町民など約800人が参加。菅原町長から世界遺産委員会での審議の様子、登録決定に至るまでの経過が報告されると、会場からは大きな拍手が沸き起こり、祝賀ムードに包まれました。

鏡開き、乾杯に引き続き、平泉喜桜会による祝謡や山王太鼓による演奏などさまざまなアトラクションが繰り広げられました。

また中尊寺通りから無量光院跡には、平泉まちてらす会や沿道の町民が設置した夢灯りがともされ、町内は幻想的な雰囲気になりました。

報告会の最後には、平泉中生徒による「平泉伝説」や奥の細道をつたう会による「奥の細道」など4曲が披露され、夢灯りに包まれた無量光院跡に素晴らしいハーモニーが響き渡りました。

世界遺産登録を祝う 町民報告会盛大に開催

祈願参拝

3日には、平泉の文化遺産が世界遺産に登録されたことへの感謝と、東日本大震災の被災地復興を祈願し、「平泉世界文化遺産登録東北復興祈願参拝」が中尊寺で行われました。参拝には町内外から約800人が参加。セレモニーに先立ち東日本大震災により被害を受けた宮古市の黒森神楽が復興の願いを込め舞を奉納しました。

商工会青年部長で祈願参拝実行委員長の鈴木繁夫さん（12区）や菅原町長のあいさつに続き、達増拓也県知事と平泉ユネスコ協会の文化財愛護少年団の団員が「東北復興平泉宣言」を宣言しました。

また観光庁の溝畑宏長官が「岩手には魅力あるものが多い」と、岩手には「一緒に頑張りましょう」と祝辞を寄せました。

その後、愛護少年団の団員と手をつないだ来賓や主催者を先頭に参加者は金色堂を参拝。

参加者たちは世界遺産に登録された感謝と1日も早い被災地の復興を願い静かに手を合わせていました。



鈴木繁夫さん
祈願参拝実行委員長
(商工会青年部長)

今回の祈願参拝は、世界遺産登録のために応援いただいた皆さんへの感謝と、東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福とお祈りし、東北復興を皆さまでともに祈願するため開催しました。

参拝は、多くの方々のご賛同とご協力により無事終了することができました。

平泉の文化遺産を後世に守り伝えていくことが私たちの使命であり今後も感謝と復興への思いを忘れず、継続してイベントを開催し地域を盛り上げていきたいと思えます。



7月2日、無量光院跡や沿道を夢灯りの優しい灯りが包みみした

⑥復興を祈願して舞う宮古市の黒森神楽⑦「東北復興平泉宣言」を行う達増県知事と平泉ユネスコ文化財愛護少年団⑧手をつないで参拝に向かう愛護少年団と関係者⑨金色堂を前に手を合わせる参加者⑩祝辞を寄せる溝畑観光庁長官

